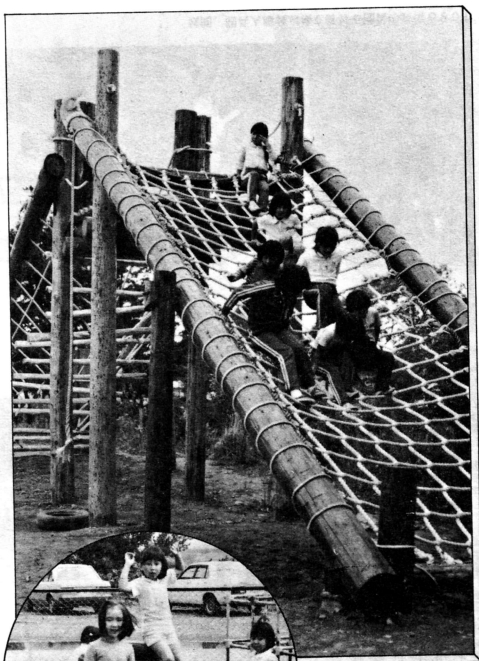




アスレチックが完成 仲よく遊ぶ子どもたち

相内小学校にこのほど、アスレチックが完成し、子どもたちに喜ばれています。
これは、相内小学校PTA（三和孝徳会長）の事業として、環境整備部々員と六年生の父兄が約一週間の労力奉仕をして完成させたものです。
材料となった丸太は、東北電力から寄贈された電柱で、立派に完成したアスレチックで、子どもたちは仲よく遊んでいます。



知事と語るつどい

住民の声を行政に反映させたい

「知事と語るつどい」は、八月十一日午後二時から基幹集落センターに村内の各種団体長や住民代表二十人が出席して開かれました。
「知事と語るつどい」は、北村知事が就任してからの開催してきたものだが、今回が十三回目。

この日は、県側から知事をはじめ、対馬森雄企画部次長、県の出先機関の長、村側からは、白川浩三郎村長のほか、青年、婦人、商工観光農林漁業産団体が二十人、花田一興議会議員もオブザーバーとして出席しました。

はじめに、北村知事が「みなさんの意見を行政に反映させたいというのが、つどいの趣旨だが、同時に行政をもっと身近に感じとって欲しいというの大きなねらいのひとつ。市浦は十三湖の新しい観光開発や畜産行政の向上なども数多くの課題があると思う、いいアイデア、要望を出して下さい」とあいさつしたあと、

対馬企画部次長から県政のあらましについて説明があり、懇談に入りました。
懇談会では、各代表から次々意見や要望が出されました。

①「十三湖は岩木川流域から流れてくる廃棄物で汚染され、ごみの墓場である。何とかできないものか」

②「せっかくの観光地も施設が貧弱ではなんにもならない。観光客が気持ちよく訪れることができるよう、津軽国定公園にふさわしい休憩所、公衆便所をつくってほしい」

③「市浦牛は、全国的にも有名だが、需要に十分応じられないよう、牧場の面積を拡張することが当面の問題だ。国有林、特に自然林を活用できないものか」

④「身障者が働ける場や、老人が安心して暮らせる施設をつくってほしい。出かせぎは家庭の破壊を招いているので、出かせぎ対策のために、地場産業の育成と、もっと働く場がほしい」——など問題が次々出されました。

これに対し、北村知事は、①「十三湖の汚染は大きな問題であり、昨年から岩木川クリアー作戦を実施している。上流地域の農産物に待つところが大きいのが、各市町村を通じてもっと積極的に徹底させたい」

②「十三湖周辺へのレストハウス、トイレの建設は県の補助制度もあるので、村から要望があれば相談に乗って実現させる」

③「牧場の拡張計画は、現在草地開発事業で進めているところだが、これは別に自然林を活用できれば大きな前進であり、検討してみる」

④「県にとつて一番欲しいのは働く場所である。働く場企業誘致は、全県的な課題となっているので、出かせぎ対策のためにも一生けんめいや

る。——など積極的に取り組む姿勢をみせました。
最後に、白川村長が「津軽開発の拠点として、我が村の将来をみ込んで考えてい。その意味で、きょうは有意義なつどいだった。県の力を借り過疎から脱却を図りたい」と意見を述べました。

知事自身、市浦村を訪れることはこれまでできておきませんが、今回のつどいは、実際の大きいものとなりました。



みなさんの意見を行政に反映させていきたい……。と北村知事があいさつ

ひとこと



成田 はるみ (相内)

知事と語るつどいに参加して、市浦村の抱えている問題点について、あらためて考えさせられるものがありました。農業ひとつとつてみても、農業だけにとつていては生活ができない。地元で働かなくても労働力がかえてくれる産業もなく、出稼きの道を選ばなければならぬ今の現状をどう取りぬけるべきか、私たちが一人ひとりが真剣に考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

私の好きな言葉にこんな言葉があります。

「白い紙は、そのままにしておくといつまでも白いことしかし、君の手が触れることによって、無から全てが生まれる。」一人ひとりの力が結果した時ほど強いものはないのです。

消防観閲式

100人が分列行進

各分団による玉落し競技も

市浦村消防団（秋田谷納団長・団員百六十名）の定期観閲式が八月十四日、団員百八、消防自動車三台、積載車四台、小型動力ポンプ二台が参加して行われました。

午前八時から十三湖大橋下流で各分団による玉落し競技をしたあと、十三小学校グラウンドで山田勝明市浦村収入役、小倉十三男村議会議長の観閲をうけ、団員人員服装点検、機械器具の点検を受けたあと消防訓練礼式、分列行進をしました。



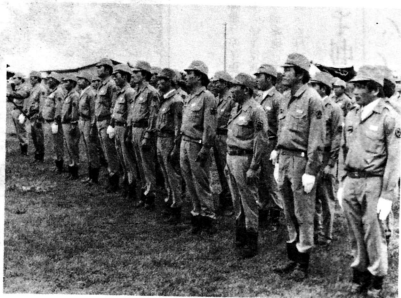
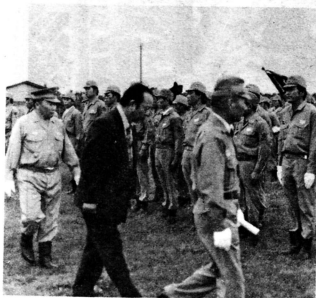
各分団による玉落し競技

長の訓示のあと小倉十三男村議会議長らから祝辞がありました。

このあと、表彰者を代表し、第三分団第一若山久雄部長から謝辞がありました。

■優良団員受彰者
三和全春、工藤仁人、大沢兼義、成田豊、白川日出夫、若山久雄、相坂照衛、奈良正次郎

■感謝状贈呈者（退団者）
小山内孝作、柳谷栄、藤田道雄、三和博明、笹山禮次郎
大性一徳、後藤清典、伊南忠雄、富坂善三郎、米谷幸治、浜田満郎、工藤武則、成田勲、奈良正勝、佐藤昭恵



観閲、団員人員服装点検を受ける団員の表情もきびしく

気軽に

「ご相談ください」



行政相談委員

白川行雄

青森行政監察局から八月一日づつで、行政相談委員に委嘱されました。

相談の内容は、役所の仕事に関するものであれば何でもよく、例えば、役所の仕事が遅い、不親切だ、納得できない。法律や手続きがわからない等、日頃困っていること、不満に思っていることが対象になります。

相談は、無料で口頭、電話、手紙のいずれの方法でもよく、秘密を守り親身にお世話したいと思っております。いつでも気軽にご相談ください。

自宅 市浦村大字相内字
相内六六の一
電話 二七八八

みんなですすめよう交通安全



子どもと老人を交通事故から守るため
安全運転を呼びかける母の会々員



「冷したタオル」を配布し
安全運転してネ!
母の会が街頭指導

臨元保育 協元保育
所白鳥クラ プ母の会(今 満代会長)
では、夏の 交通安全運 動期間中の 八月一日、 動を展開して

運動者に「冷したタオル」を配り、安全運転を呼びかけました。
母の会では、子どもと老人を交通事故から守るため、交通安全教室、街頭指導、マスコットの配布など自主的な活動を展開しています。

この日は、あいにくの雨にみまわれたが、会員たちはタオルとチラシの配布に追われていました。
「冷たいタオル」の配布に運転者も顔を拭いて、ホッと一息、安全運転をします。とハンドルをにぎっていました。

事故防止にハンカチ

赤十字奉仕団十三分団



暴走・飲酒運転は絶対やめよう一、と事故防止を呼びかける赤十字奉仕団十三分団員

最近、県内外からマイカーで訪れる観光客が増えておりますが、特に十三湖への入り込みが多く、十三の砂山祭り期間中(八月十二日～八月十六日)は、交通渋滞が続く、車の接触、人身事故などが多発しています。

市浦村赤十字奉仕団十三分団(中島豊治分団長)でも、「交通事故は、家庭破壊につながる恐ろしいもの。事故防止は車を運転する一人一人の自覚よらない」と話しあい、八月十五日、十一人の団員が街頭にくり出し安全運転を呼びかけるハンカチ二百枚を配

りました。

この日も、十三湖へ訪れたマイカーの列が続いたが、団員の安全運転の呼びかけに、運転者一人一人が「安全運転に心がけます」と約束してい

ました。
同分団は、施設の慰問や赤十字奉仕活動を中心にしてきましたが、暴走飲酒運転による事故に歯止めをかけるよう積極的に取りかかっています。



シートベルトは「安全への大敵」

東京でも虫おくりが楽しめる

上野公園に全員集合

あなたも気軽に参加を

「相内会」で親睦深める

東京「相内会」は、相内小学校創立百周年記念式典に参加した数人が、祝賀会の雰囲気の良いしつかり魅せられ、都会で生活している同郷者が集い、励ましあい、楽しむ機会が少ないことを何とかしようと相談の上スタートした会です。

ことして三回目の親睦会が四月六日、桜が満開の東京上野公園に五十数人が参加して盛大に開かれました。

若年者を中心であったが、年輩者からも参加させてほしいという希望があり、今年は葉書を二百枚印刷して発送したとのこと。百周年のとき調べた住所録を利用しているが転居したのか、八十枚ほど返送されている。

「会費は一人三千円、当日会場に来た人だけから徴収しているが、何人参加してくれるのか見当つかないし、集まってくるの準備が大変。会場の設営やら酒の買い出しなど若い仲間だからこそやっていた。今年も、足が出て大変でした」とは鳴海憲也会長（相内出身四十三歳）の弁。

郷里のみならずも応援してほしい。また、この会は、あくまでも親睦を深め、都会で生活している者が共に確かめあい、励ましあって生きて行くというの目的であり、どうなっても参加できるので所在を知らせてほしい。参加者の少数にもかかわらず、毎年春、上野の桜まつりで会うようにしたい」とも語っていました。

■連絡先
神奈川県大和市上草柳一六
二七ノ一〇二
鳴海 憲也
(TEL・〇四六二六三
二七二〇)

集まって酒を飲みかわすだけでなく、何かやろうというけでなく、二回目に相内の虫送り（太刀振り）をハネた。ハヤシには録音テープを送ってもらい実行したら大成功。三回目の今年は、簡単な夕子を三十本ほど作り、ハンチン、花笠まで持ちこんだ人もあり、周開からも大かっさいを浴びたとのこと。



今年の親睦会には約50人の仲間が集まりました。

合宿に36人が参加して

チームワークを強化



練習に励む野球部員

相内小学校野球部では、夏休み期間中の七月十六日から三日の合宿に入り、規則正しい団体生活を過ごしました。

この合宿は、野球技術の向上、チームワークの強化と規則正しい団体生活をおとし、精神をきたえるために実施したもので、小学生時代の楽しい思い出をつくることも大きな目的です。

合宿には、四年生以上の野球部員三十八人中、三十六人が参加し、同校体育館で楽しい合宿生活を楽しみました。

初めての合宿とあって、父兄からの差し入れ等もあり、親子の楽しい対話風景もみられました。



練習を終えてのミーティングも楽しい思い出

役場の電話は
2111番です

おしらせ



臨元岩木山神社大祭

恒例の臨元岩木山神社大祭は、
9月9日行われます。
行事は次のとおりです。

と き	行 事
9月8日 18:30	前夜祭 カラオケ大会 (野外ステージ) (雨天の場合臨時休演)
9月9日 10:00	登山行列祝詞神社前出発 小鳥踊り大会 大盆大会 (野外ステージ) ～雨天の場合臨時休演～

青色申告のおすすめ 五所川原税務署

「今の世の中 まっ暗やみ…」

そんなことを言わずに隣りの魚屋さんを見てごらんさない。奥さんがいつしようけんめい帳簿をつけています。

「いらっやいノ」

ご主人の掛け声までも軽やかです。

何かうれいしことでもあったのでしょうか。

「いえね、今年から青色申告にしたんですよ。手続も簡単な上、税金も安くなるし、女房にも給料を払って帳簿をつけさせていますよ。」

あなたもいかがですか青色申告、詳しくは税務署へおたずね下さい。

3種混合予防接種

- ・と き 55年9月11日
- ・対象 1期 52年7月1日生
—53年6月30日生
2期 前年1期の予防接種を受けた人

・時間及び場所

場 所	時 間	備 考
太田センター	13:30-13:40	1期・2期
十三公民館	14:00-14:20	*
臨元公民館	14:40-15:10	*
市浦診療所	15:20-16:00	*

1期の2回目は、10月8日

3回目は、11月7日

(1回目と同じ場所同じ時間)

この予防接種は、(百日セキ・破傷風・ジフテリア)の3種で、3回うけなければなりません。

- ③ 子供の状態をよく医師に話す。
問診票の必要事項は必ず記入し、母子手帳といっしょに受付へ。

ごみの収集は

5月から10月まで
毎週月曜日と本曜日です

9月11日 午後休診です。

市 浦 診 療 所

9月の納税は
国民健康保険税
です (3期分)

善意 ありがとう
村社会福祉協議会に善意が寄せられています。相内の嶋海尚志さんは、去る七月十七日死去した父金次郎さんの香典返しとして、三万円を寄金。臨元国民学校高等科卒業生同窓会を開催した際の残金、二万円を一同で代表して三上常一さんから寄金。また、津迎寺おつぎ子ども研修会の残金二千八百万円をそれぞれ寄託しました。村社会福祉協議会では「たすけあい資金」として、めぐまれない人たちのために役立てることにしています。

人口は世界一かつ国の基礎
明日のため今日の日本を知る調査

パパはママ ボクも書いた国勢調査



国勢調査

昭和55年10月1日(水)

10月1日は、全国一斉に国勢調査が行われます。

この調査は、行政の適切な運営に必要な基礎資料を提供する極めて重要な調査です。

調査票は、調査員が9月24日から30日間に各家庭を訪問し、お配りします。

記入済みの調査票は、10月1日から5日までの間にもう一度調査員がお伺いしますので、そのときお渡しください。

なお、調査員がお伺いする時期に留守の方は、早めに国勢調査担当係までご連絡ください。

お忙しいとは思いますが、ご協力をお願いします。

子ども会育成会を 再発足しました

有名無実化していた市浦村子ども会育成連絡協議会を再建し、各地区ともお互いに連携をとりあいながら、同じ考え方で子どもたちの健全育成をめざそうというものです。

■役員は次のとおりです。

会長 浜田春士、副会長 工藤昇、三和芳次、伊南義道、監事 八木沢良藏、石岡一衛



▶26◀

安東水軍 ⑫

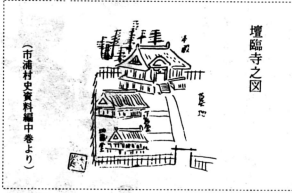
豊島勝蔵

十三の子守唄

「おれアの オンチャマ はめゴアオンチャマ、泣けば 山から モンコ来るんじ、泣がねアば 海がらドト来るネ、寝いろジヤ寝いろ。」

「私の家のオンチャマ(弟)の愛称 は可愛いオンチャマだなあ、そんなに泣くと山の奥から蒙古(魔物の代名詞)がやって来るぞ、泣かないと海からなつかしい父さんが帰って来るんですね、早く眠りなさい。早く眠りなさい。」

今六十六歳になんなんとする私の心をゆさぶる子守唄。祖母さんや母さんや姉さんの背なかに、眠りの前にむすかっ泣くオンチャマをあやして泣く、この子守唄。そして、ギヤギヤア泣きわめくオンチャマ、私、市浦つ子、津軽のワラ



(市浦村史資料館中巻より)

壇臨寺之図

シゴを眠りの世界へといざなうてくれた、この子守唄。世界征服をもくろんだ蒙古という恐しさの中に、泰山鳴動すともわれゆかんの安東水軍の勇敢さと共に、日本海、東支那海の大海を舞台として、親や妻子の喜ぶ顔を映して描いて水い航海を続けた海の男の優しさとかくまじさの歴史を秘めた子守唄がこれです。今年の暮参で三の市浦人といみじくも一献かかわり、つくづくこの子守唄を聴かざることが出来た私を幸福と思えました。タペドの漂、影三、ジヤッコの源之助モンゴに立ちはだかれ。

蒙古に関する伝説

十三福島城主であった十三左衛門尉秀栄が嫡子の秀元を跡をゆずり渡し、現十

三子(石子(ゴロゴロ石))の地域に壇臨寺(二本壇臨寺)を建立して隠居して仏門に入りました。樹立した鎌倉幕府を樹立し、武家政治の基をなした源頼朝が、弟義経をかくまった罪を表に奥州平泉の藤原氏を攻略したことで、義経は遂に身代り

をたてて、自分は十三漂の秀栄入道の壇臨寺に難をのがれ、数年をここに隠れていました。けれども、鎌倉の詮義がきびじかつたので、蟹田から北海道にのり、中国に渡って蒙古帝国を建てたという伝説が伝えられています。

たという伝説が伝えられています。一六〇〇年第五代のツビタイが汗位につき、一七二一年に国号を元と改め、一七九九年に南末を滅ぼして中国を統一し、朝鮮半島の高麗、ビルマ、仏印、ジャバ、トルキスタン、チベット、雲南を次々に攻め略して大帝国を完成しました。そして、文永、弘安と二度日本に来襲し、鎌倉幕府に対する恨みをほらすこととしたといわれています。鎌倉執権北條時宗の時代、

津軽は安東宗季の統治にあった時代の話です。
国難に起つ安東水軍

文永の役に大旗に会って敗退した元軍は、なおつように日本に降伏を迫ってきました。そして、弘安四年(一一八一、約七〇年前)五月再び来襲、安東水軍も敢然と國難に立ちあがり、戦いに殉ずる者六二九人。吹浦観音寺、金井淨海苑、十山壇臨寺で城主宗季によって大供養が営まれました。

元軍は再び大旗にみまわれ大敗北しましたが、その漂流船が志丹島に漂着し、住民を殺し、山荘に奪って女をおかし、山中に籠ってたびたび住民をおびやかしました。その残忍な行為が子守唄に残されて現在に伝わっているわけです。宗季は蒙古狩りを実施して、手向者は誅し、降る者は捕えて中国に送り返して、中国と国との交易を取りかえしたということです。

津軽のことわざ

⑤

い部の
絆いあんべ、がにあんべ
味がよいこと。物事が都合よく運んだこと。
好い面の皮、いい恥さらし
いがさまいうことをまじつかにも左様ということまでまじつかえていう。
石河原サ馬、両者がたがい
に照應しないこと。殺風景なさま。
医者が取らねば坊主が取る、
備かからねば藪かがる
運命はさげ難い。人生思うように行かぬもの。
痛くない腫さぐられる 自分
の知らないことを他人から
疑われること。
痛くも痒くもネ、全く苦痛
を感じないこと。利害関係が
全くないこと。
いも二もない、きわめて明白
なことを。疑う余地のないこと。
一、把ひとからげ、東にして
他大勢という意。
おそろしく
福妻とらろ、おそろしく
早いこと。たこえ。

社教 シリーズ

新しい

コミュニティを目指して

派遣社教主事 片山 永繁

市浦村においても昨年十一月十四日の研究協議会を契機に、この種の運動や集会の必要性を説く人が多くなりました。

議会ともいう)として、明るい村づくりのために必要な問題について調査研究し、行政関係機関、町内会、各種団体の連携を密にし、健康で明るく住みよい村づくりにあることを目的とした会則を作り発足したものです。

今回、推進委員の任期満了に伴い、新たにP.T.A・青年団・婦人会・老人クラブ等の代表者から三十一名の方に推進員をお願いし、その名も健康で明るい快適な村づくり推進協議会(快適村づくり協議会)として発足しました。

大澤 巧(桂川良一 奈良 孝徳(太田)孝一 濱田 博子(十三文男 岡本奈津美(相内)市雄 中島扶紀子(十三英雄 工藤 豊子(車力)富明 葛西 真也(相内) 勲 佐々木啓太(脇元)洋一 鳴海 玲奈(金木) 務 吉田 有希(相内) 勇 佐々木雅也(相内)雅幸 三和 皇子(相内)房之輔 宮本奈津紀(相内)健治 岡本 一成(相内)隆雄 工藤 敏幸(十三)好文

●役員は次のとおりです。
●会長 本 莊 珍雄
●副会長 奈良 しづ江

窓の戸籍



お誕生

三和真由子(相内)忠範
奈良和俊(太田)義一



結婚

竹谷 史樹 (脇元)
小林麻里子 (東京)
工藤 富明 (車力)
吉田 良子 (相内)
竹谷 徹 (脇元)
三和留美子 (脇元)

●親切にする部会長

白川 孝治

環境美化部会長

鳴海 養正

健康づくり部会長

桑野 邦夫

●事業計画

十一月十五日(土)夜

郷土芸能大会

十一月十六日(日)午前

村づくり推進大会

(7)体験発表会

(4)村づくり推進講演会

(7)文化祭

成田 勝善 (鶴田)
木村 房子 (太田)
大澤正志郎 (小泊)
三浦 妙子 (相内)
三浦 勉 (北海道)
加藤百合子 (十三)
島守秀二郎 (八戸)
川上アイ子 (松戸)
南 俊美 (東京)
鳴海三重子 (相内)
木津谷由道 (相内)
大小堀千秋 (沖縄)
前田 泰恒 (北海道)
中西 洋光 (脇元)
長谷川恵美子 (浪岡)

坂本 光弘 (車力)
小寺美恵子 (相内)
岡本 兼隆 (相内)
渋谷 文子 (千葉)
成田 忠孝 (相内)
安形 好子 (東京)
吉崎 博 (蓮田)
木村 昌子 (太田)
山口 重幸 (埼玉)
奈良 ゆり (太田)
中畑 義典 (藤子沢)
佐藤 時子 (中里)
青山日栄栄 (藤子沢)
高橋 昌子 (十三)
吉田 寛 (相内)
佐藤 昭子 (青森)
米谷 幸三 (相内)
奈良 順子 (太田)
城田 久夫 (東京)
成田 敬 (磯松)
山形 陽子 (横浜)
山形 正 (板柳)
木村ひとみ (太田)
小寺 義輝 (太田)
小島 安子 (埼玉)
三和 忠範 (相内)
長瀬 宣子 (埼玉)
吉田 勇 (相知)
菊谷 裕じ (青森)
本莊 悟 (十三)
越谷 久子 (太田)
三上 則夫 (太田)
大塩江美子 (東京)

三和 博 (相内)
相内 丸美 (今別)
三浦 金行 (相内)
青美世子 (相内)
齊藤 正 (浪岡)
柏谷久美子 (相内)
相川 賢一 (十三)
濱崎マチ子 (石川)
新岡 良成 (弘前)
葛西 宏子 (脇元)
高橋 毅 (埼玉)
三上美紀子 (藤子沢)
針谷 実 (東京)
有馬 忠夫 (相内)
大越千鶴子 (栃木)
荒西 克招 (兵庫)
佐藤 眞澄 (相内)
本莊 清則 (小泊)
岡本 琴美 (小泊)

おくやみ

山田 よね (脇元) 86歳
成田 りさ (磯松) 84歳
奈良 兼吉 (相内) 82歳
秋田谷又八 (十三) 78歳
加藤健三郎 (脇元) 67歳
山田 さよ (脇元) 83歳
小野 平内 (磯松) 77歳
吉田 さと (相内) 83歳